

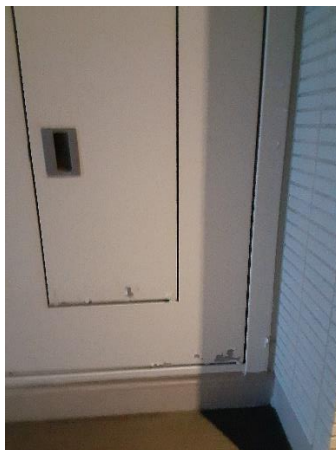
メーターボックス再塗装工事記録(瑕疵対応)

1. 施工会社: ■■■■■
2. 施工日: 2021年11月1日～5日
3. 施工場所: 全戸のメーターボックス
4. 使用塗料: 関西ペイント製 パワーホルスF4
5. 施工内容:
養生＋ケレン処理(手作業)＋下塗り塗装＋4時間放置＋上塗り塗装

6. 再塗装前の典型的な塗装劣化



(1) 耐候性劣化
太陽、雨、風。下地は残



(2) 水滴残による劣化
面の下部が下地から剥離



(3) 竣工前上塗り
竣工前の不良を上塗り

7. 工事の状況



(1) ケレン処理後



(2) 塗装後

メータボックス瑕疵再塗装の件

2021 年 10 月 25 日

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

管理組合 理事会、修繕委員会

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

居住者の皆様

秋が深まり冷え込みも厳しくなりましたが、お元気でお過ごしのことと思います。
さて、予てからメータボックスの塗装剥がれの修理につき売主と交渉してまいりましたが、この度、売主が瑕疵と認め、以下の要領にて無償で再塗装することになりました。

工事中、ご迷惑をお掛けしますが、よろしくご留意お願い致します。

記

1. 塗装場所

全戸のメータボックス。

メータボックスは、玄関横にある電気ガス水道などのメータ類と配管が納められている白い大型の鉄製ボックス。古い塗装をはがして再塗装します。

2. 時期

11 月 1 日より 11 月 5 日まで（予備日 11 月 6 日）。

詳細は添付資料を見てください。

3. ご留意頂きたい点（詳細は添付資料を見てください）

(1) 作業当日、事前に各お宅に工事連絡があります。

(2) 廊下側の窓は、古い塗装の粉や新しい塗装の匂いが入る可能性があります。
できるだけ閉じておくことをお勧めします。

4. 住民側連絡先

修繕委員 319 号 稲吉

郵便受けにメモをください。

または、e-mail: inayoshi@ch.em-net.ne.jp

以上

2021年10月25日

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 株式会社

ご入居者の皆様に

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
アフターサービスセンター
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

共用廊下メーターボックス塗装工事のお知らせ

拝啓、時下ますますご清祥のことと存じ上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、表題の件について、下記の要領にて、実施しますので、ご協力の程宜しくお願い致します。

敬具

記

○ 工事実施日 : 11月1日(月)～11月5日(金)

工事時間 : 9時00分～17時00分頃

※ 天候・諸事情等により、日程が変更になる場合は適時ご案内いたします。

※ 作業の進捗等により、その日の終了時間を早める場合があります。

◆期間中間合せ先

(アフターサービス全般に関して)

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

担当: 〇〇〇〇 電話: 〇〇〇〇-〇〇〇〇(平日10時から17時まで)

(工事実施全般に関して)

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 担当: 〇〇〇〇 電話: 〇〇〇〇-〇〇〇〇

◆お願い注意事項

- ・作業開始前にカラーコーン等で作業エリアを明示し、塗料乾燥後撤去します。
- ・作業員は腕章を着用します。
- ・インターホンにて塗装作業開始前に入居者様への注意喚起を行います。
- ・窓を開ける際にはカーテンなどが外に出ますと、ペンキが付着する恐れがありますのでご注意下さい。
- ・メーターボックス付近に物を置かれている場合は工事期間中の移動をお願いします。
- ・工事期間中は作業員との衝突を防ぐため、玄関ドアを開く時はご注意下さい。
- ・管理室・トイレや共用水栓を使用させていただきます。
- ・塗装の「臭い」が発生します。

F★★★★

ホルムアルデヒド登録認定商品

鉛・クロムフリー

暗所黄変注意

上下兼用塗料

JIS K 5516 合成樹脂調合ペイント 1種

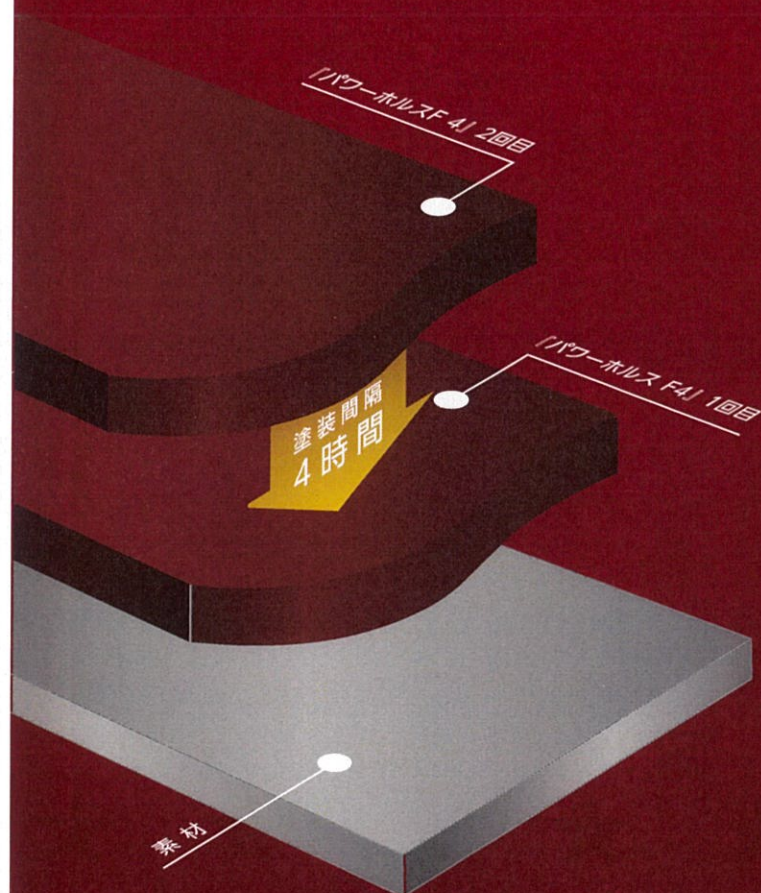
パワーホルス F4

POWER
FORCE
F4



「下塗」から「上塗」まで！ さび止め効果と高い耐候性が さまざまなシーンでメリットを発揮！

パワーホルス F4は
工事期間短縮型「防さび・高耐候性」機能複合塗料です。



防さび機能により、 鉄部でも**2工程**でOK！

従来の合成樹脂調合ペイントを使用する場合は、塗装工程が3工程必要になります。しかし、『パワーホルス F4』は、防さび機能を持っているので、2工程で完了することができます。

塗装間隔も**4時間**以上(23℃)

従来の合成樹脂調合ペイントは、16時間以上(23℃)の塗装間隔が必要ですが、『パワーホルス F4』の塗装間隔は、4時間以上(23℃)で2回目の塗装が可能です。

ウレタンアルキド樹脂で 優れた**耐候性**を発揮

『パワーホルス F4』は、ウレタンアルキド樹脂を使用しているので、従来の合成樹脂調合ペイントよりも、優れた耐候性を発揮します。

速乾で複合機能型だから**工事期間が1/3に短縮！**

従来の塗装工程と比べ工期短縮が可能となることから、工事費低減を図ることができます。

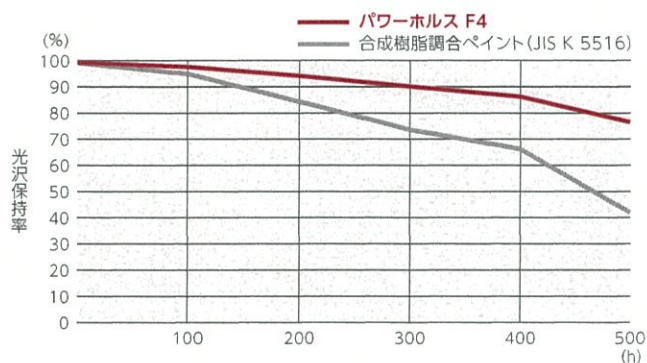
■ 鉄部塗装の場合

	1日目	2日目	3日目
パワーホルスF4	パワーホルスF4 ↓ 4時間 ↓ パワーホルスF4		
従来工法	さび止め塗料 ↓ 16時間 ↓ 〈SOP〉 1回目	↓ 16時間 ↓ 〈SOP〉 2回目	

※塗装間隔(23℃)。温度条件により工程時間が前後する場合があります。

促進耐候性試験結果

ウレタン基を導入する『パワーホルス F4』は、合成樹脂調合ペイントを超える耐候性を持ち、良好な光沢状態を保ちます。



耐塩水噴霧試験結果(300時間)

『パワーホルス F4』は、無害のさび止め顔料を配合。鉛・クロムフリーさび止めペイント(JIS K 5674)同等以上の防さび力を持っています。



塗装方法

塗装方法	ハケ、ローラー	エアレススプレー
希釈率	0～10%	0～10%
所要量	0.14kg/m ² /回	0.20kg/m ² /回
膜厚(ドライ)	35μm	35μm
膜厚(ウェット)	80μm	80μm

■ 所要量・膜厚は標準的な数値で、被塗物の形状、気象条件、希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

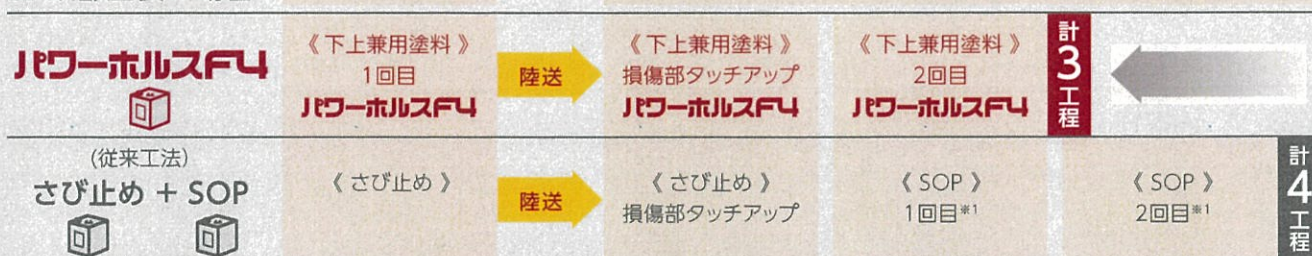
大型新築物件でのメリット

新築大型物件では、屋根や壁が設置されるまで鉄骨の屋外暴露が続きます。

パワーホルス F4は、「さび止め効果」と「高い耐候性」を有するため、屋外状態が続く物件でも変退色の不安が軽減されます。

また、一品種で「さび止め」から「上塗り」まで塗装できるため、**施工管理や在庫負担の軽減**にもつながります。

鉄部塗装の場合



*1 屋根が設置されてからの施工



防火材料認定	国土交通大臣認定	認定番号	NM-8585	区分	不燃材料
			QM-9816		準不燃材料
			RM-9364		難燃材料
		(一社)日本塗料工業会			

■ 鉄部【新設】

工 程		塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (%)
工 場	素地調整	黒皮、さび、油脂、汚れなどはブラスト、ディスクサンダー、ワイヤーブラシなどで除去し、清浄な面とする。				
	上塗 (1回目)	パワーホルス F4 塗料用シンナーA	0.14	4時間以上7日以内	ハケ・ローラー	0～10
			0.20		エアレス	0～10
現 場	タッチアップ	パワーホルス F4 塗料用シンナーA	0.14	4時間以上7日以内	ハケ・ローラー	0～10
	上塗 (2回目)	パワーホルス F4 塗料用シンナーA	0.14	—	ハケ・ローラー	0～10

■ 鉄部【塗替】

工 程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (%)
素地調整	劣化している塗膜をクレン工具で除去する。さびは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃する。 素地露出部は補修塗を行う。				
上塗 (1回目)	パワーホルス F4 塗料用シンナーA	0.14	4時間以上7日以内	ハケ・ローラー	0~10
上塗 (2回目)	パワーホルス F4 塗料用シンナーA	0.14	—	ハケ・ローラー	0~10

■ 木部【新設】

工 程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (%)
素地調整	汚れ、付着物を除去し、研磨紙P120~240を用いて研磨紙すりを行う。 節及びその周辺は、セラックニスを用いて節止めを行い、穴埋めの必要があればポリパテなどで穴うめを行う。				
下塗	ホルス下塗白(F4) 塗料用シンナーA	0.12	16時間以上7日以内	ハケ・ローラー	0~10
上塗 (1回目)	パワーホルス F4 塗料用シンナーA	0.14	4時間以上7日以内	ハケ・ローラー	0~10
上塗 (2回目)	パワーホルス F4 塗料用シンナーA	0.14	—	ハケ・ローラー	0~10

※下塗には、ホルス下塗白(F4)を使用することができます。

■ 主な適用素材：鉄、木部

■ 容量：15kg・4kg

■ 色相：白および各原色(黒、赤さび色、黄土色、青、緑、黄、オレンジ、赤)

■ つやあり、7分つや、5分つや、3分つや

■ 主な適用下塗塗料：本品は上下兼用ですが、以下の下塗を併用できます。

アクアグランドコート、ホルス下塗白(F4)、
JISさび止め各種、ザウルスEXII、スーパーザウルスII、
ラスゴンセーフティ(K) 等

施工上の注意事項

1. 施工直前や施工当日中に降雨、降雪、結露のおそれがある場合及び塗装場所が気温5℃以下・湿度85%以上の時、または塗装場所の換気が十分行えないと考えられる場合は、原則的に施工を避けてください。低温では乾燥遅延となり、高温・高湿度では標準値・見本板に比べ仕上がりが若干変化する可能性があります。
2. 所定の膜厚を下回りすると極度に性能が低下しますので、所定の膜厚を確保するようにしてください。3. 水に常時接触する場合、あるいは水没する所には適用を避けてください。
4. ラスゴンセーフティ(K)、ラスゴンセーフティ(K) 超速乾の上に塗装する場合は、エアレスブレード塗装はできません。
また、ラスゴンセーフティの厚膜仕様(70μm)の上にハケ・ローラーで塗装する場合は、48時間以上の塗装間隔で塗装してください。
5. 使用前に均一にかき混ぜてから使用してください。
6. 開栓した状態で長時間放置すると、空気と反応して増粘・皮張り等を起す恐れがありますので、使用後の塗料は、密封して冷暗所に保管してください。
7. 調色するには、指定原色を使用してください。また、濃れ色に比べて乾き色の方が濃くなる傾向にあるので、調色は乾き色で合わせてください。

8. その他のシンナーを使用した場合、チヂミや再溶解などを生じる場合があります。旧塗膜がラッカー系の時、チヂミを生じる事があります。
9. 油、ワックス、汚れ等が付着している場合は、シンナー、ウエスで完全に拭き取ってから塗装してください。
10. つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通しで塗装してください。
11. つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、希釈率、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合があります。事前に試し塗りの上、本施工に入ってください。
12. 塗装時並びに塗料取扱時は、十分換気を行い火気厳禁とってください。
13. 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
14. 塗布量は、被塗物の形状や素材・塗装方法・環境などによって増減する場合があります。
15. コンクリート、モルタル、スレートなどアルカリ性素材には塗装しないでください。
16. 使用後のハケ、ローラーを洗浄しないで放置すると固まるおそれがあります。
17. 暗所に適用された場合、黄変することがあります。
18. 濃彩色仕上げの際、雑巾・ウエス等で強くこすると、色落ちや変色変化が起こる場合があります。

※詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご参照ください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。

吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。

皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・スリ・長袖の作業着・手袋を着用すること。

火気と避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。

火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。

裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。

本来の目的以外に使用しないこと。

指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。

缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。

取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。

使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。

本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

漏出時や飛散した場合は、砂・布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。

火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

廃棄：本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

備考：本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。

例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

 関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
北関東 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223

東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935
中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603

中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもありますのでご諒承ください。

(21年05月05日PPO) カタログNo.816

合成樹脂調合ペイント

パワーホルスF4

系 統 弱溶剤可溶機能複合高耐候性ウレタン変性アルキド樹脂塗料

 適用規格 JIS K 5516 合成樹脂調合ペイント 1種
※つや有りのみに適用される規格です

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

特 長

- 1) 弱溶剤タイプで合成調合ペイント(JIS K 5516 1種上塗)を超える耐候性と鉛・クロムフリーさび止め塗料(JIS K 5674 1種)同等の防錆効果を付与した性能です。
- 2) 臭気がマイルドで、作業環境にやさしい塗料です。
- 3) トルエン、鉛化合物などの有害物質を配合していません。
- 4) 下地の適用幅が広い(鉄部、木部等)塗料です。
- 5) 各種旧塗膜に対する適性の幅が広い塗料です。
- 6) 乾燥性に優れ、低温乾燥性に優れます。
- 7) 防火材料認定品(JASS18の仕様に準拠します)
NM-8585(塗料塗装/不燃材料)
QM-9816(塗料塗装/準不燃材料)
RM-9364(塗料塗装/難燃材料)
- 8) 内・外部に幅広く適用できます。

塗装条件

塗装方法	ハケ	ローラー	エアレススプレー		
希 釈 率	0~10%	0~10%	0~10%		
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.14	0.14	0.20		
希 釈 剤	塗料用シンナーA				

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

温 度		23℃	5℃
項 目	最 短	4 時間	16時間
	最 長	7 日	7 日
使 用 時 限		—	—

塗料性状 ※上記JIS規格は、つや有りのみに適用されます。

項 目	内 容
1 荷 姿	15kg、4kg
2 混 合 比	—
3 色	白及び各色
4 つ や	つや有り、7分つや、5分つや、3分つや
5 仕 上 が り 感	平 滑
6 塗 料 比 重	1.32(白)
7 溶 剤 比 重	0.80
8 加 熱 残 分	68%(白)
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10 労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	キシレン エタノール エチルベンゼン
11 有 機 則 / 特 化 則	第3種有機溶剤等
12 消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	第4類 第2石油類(非水溶性)
13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	—

 主な適用素材
鉄、木部

主な適用下塗塗料

本品は上下兼用ですが、下記の下塗を併用できます。
アクアグラッドコートⅡ、ホルス下塗白(F4)、JISさび止め各種、ザウルスEXⅡ、スーパーザウルスⅡ、ラスゴンセーフティ(K)等

主な適用中塗塗料

主な適用上塗塗料

使用上の注意事項

- 1) ラスゴンセーフティ(K)、ラスゴンセーフティ(K)超速乾の上に塗装する場合は、エアレススプレー塗装はできません。
また、ラスゴンセーフティの厚膜仕様(70μm)の上にハケ・ローラー塗装する場合は、48時間以上の塗装間隔で塗装して下さい。
- 2) 塗装する際は、適切な下地処理を行って下さい。
- 3) コンクリート、モルタル、スレートなどのアルカリ性素材には塗装できません。
- 4) 暗所に適用された場合、白・淡彩は黄変することがあります。
- 5) 速乾サビナイト上に塗装する場合は以下の塗装間隔で塗装して下さい。
5℃:72時間以上 23℃:48時間以上
- 6) 塗料が染み込んだウエス等は自然発火の恐れがあります。使用したウエスは必ず焼却するか、水の入った容器に入れて処理して下さい。
- 7) エアレス塗装条件は、以下の通りとして下さい。
2次圧:10Mpa(100kg/cm²)、チップNo:163-515~517
- 8) 換気の良い場所での取り扱い、容器はその都度密栓して下さい。
- 9) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめご了承ください。